



2017年度パリ日仏高等研究センターリサーチフェローの募集



「マクロ経済学と経済政策：日本の経験から何を学ぶか？」

パリ日仏高等研究センター
フランス銀行研究支援プログラム

パリ日仏高等研究センター（Centre d'études avancées franco-japonais de Paris, 略称 CEAFJP）は、フランス国立社会科学高等研究院日仏財団（以下「日仏財団」という）とフランス銀行の資金提供の下、フランス銀行研究フェローシップ「マクロ経済学と経済政策：日本の経験から何を学ぶか？」について、優れた能力と熱意を有する人物を募集致します。このフェローシップは2017年1月1日の着任を予定しております（事情に応じて変更も可能）。

本研究センターは、日仏財団によって2014年に設立された研究・学術交流拠点です。フランス国立社会科学高等研究院（École des hautes études en sciences sociales; 略称 EHESS）における高等教育及び研究プログラムと協働し、またヨーロッパの官民の資金援助を受けながら、日欧共同研究を促進すると共に、社会科学・人文科学の分野における先端的な研究領域を、広い社会的・歴史的文脈の中に位置付けながら発展させることを目指しています。

本フランス銀行研究フェローシップは、日本人研究者ないし日本研究を行う外国人研究者に、6か月以上12か月以内の期間にわたってパリに滞在する機会を提供いたします。博士号取得前後の研究者（ジュニアフェロー）、あるいは、既に一定の経験と業績を有する研究者（シニアフェロー）で、経済学・社会学・政治学及び歴史学分野の研究を専門とする方を対象といたします。

応募要件

本「マクロ経済学と経済政策：日本の経験から何を学ぶか？」プロジェクト遂行にふさわしい知識と資質を有すること。年齢・国籍・現住所・所属機関に制限はありません。

- ジュニア・フェローシップは、博士論文の執筆が既に相当程度進展している研究者、ポスドク研究者、あるいは2008年以降に博士号を取得し研究者としてのキャリアをスタートしたばかりの方を対象といたします。なお、博士号は必要条件ではありません。
- シニア・フェローシップは、優れた経験と業績を有する研究者、及び民間企業あるいは政府関係機関で経験を積んだ方で、本フェローシップの研究テーマについて新たな学問的可能性を切り拓く意欲を持った方を募集します。なお、博士号は必要条件ではありません。

研究課題

過去 30 年にわたる日本のマクロ経済の軌跡は、日本国内外の研究者から注目されてきた。多くの研究者らが日本のマクロ経済に高い関心を示したのは、日本経済展望についての誤った推測への反省のみならず、日本の事例が他の OECD 主要国の教訓となりうる可能性が期待されているからである。

日本経済のマクロ分析は、既存のマクロ経済理論の批判的再評価を促し、その結果、経済政策とその帰結に関する議論の方向性に影響を与えてきた。いわゆる「アベノミクス」は専門家や政策決定者のみならず様々な分野で注目を集めているが、現在において必要とされるのは、1980 年以降の日本の多様な経済政策を体系的に参照し、現代日本経済のあり方をヨーロッパ諸国との比較の視座の中に位置づけることである。マクロ経済学及び公共経済政策分析及び政治経済学の分析手法に通じ、ヨーロッパとの比較的地見地から分析・評価を行うこととする。

人数

フェローは毎年一名選定されます。また、ジュニアフェローシップとシニアフェローシップは、それぞれ別々に選定されます。

期間

6 か月以上 12 か月以内。2017 年 1 月 1 日着任（事情に応じて変更も可能）。研究者ビザについては、応募者の地位・状況に応じて異なる条件が適用されます。詳細については、フランス大使館のホームページ（<http://www.ambafrance-jp.org/article500>）をご参照下さい。

フェローシップの内容

年間 20,000～30,000 ユーロ（研究上の必要性に応じて決定。なお、申請額に満たない額が支給されることもありますので、他の追加的な研究・滞在資金を同時に獲得することを強くお勧めいたします）。

フェローには、オフィス（ジュニア・フェローは他の研究者と共用）・セミナー室、国際的な研究者との交流が可能な環境、EHESS 内外の図書館・電子ジャーナルの利用といった、高い水準の研究環境を提供いたします。また、研究者ビザ申請・住居・他の研究資金の応募等について事務手続き上の支援を行います。欧州高等研究所プログラムの支援を受けた追加的な競争的研究資金（www.eurias-fp.eu/home; 最大年間 30,000 ユーロ）の申請も可能です。

フェローの義務

- 研究計画書に基づき、期間中は研究に専念すること。
- 専門分野に関わるカンファレンスや研究会への企画参加
- フェローシップ期間中、フランス銀行本店での講義
- セミナーを最低でも 1 回は行うこと。
- 日仏財団のワーキングペーパーシリーズへの投稿（最低 1 本）。
- 任期終了時には最終報告書（5 ページ）を日仏財団に提出すること。
- 研究成果を発表する場合には、「EHESS 日仏財団、及びパリ日仏高等研究センターにおけるフランス銀行研究フェローシップによる助成を受けて行った研究

の成果であること」を明記してください。

応募要件

応募の〆切は**2016年3月31日 0:00 (GMT)**です。

フランス銀行研究フェローシップ応募にあたっては、ジュニア・フェローシップ
枠・シニア・フェローシップ枠のいずれに対する応募書類かを明記の上、以下の書
類をメールで提出すること。

全ての応募書類は英語および仏語で作成してください。宛先：ffj@ehess.fr

フランス銀行ジュニアフェローシップ:

- 1) 最新の履歴書および業績リスト
- 2) 応募者のこれまでの研究領域・研究実績・現在の研究課題を簡潔に説明するカバー・レター (A4で2ページ以内)
- 3) 研究計画書 (研究目標、研究分野と研究方法、必要な資金、パリで研究を行う動機、既に交流のある研究者や新たに研究交流を行うことを望む研究者について、説明するもの。A4で5ページ以内)
- 4) 推薦状 2 通 (推薦状は推薦者本人から直接日仏財団 (ffj@ehess.fr) へメールで提出することが可能です)
- 5) 必要事項を記入した応募フォーム

フランス銀行シニアフェローシップ:

- 1) 最新の履歴書および業績リスト
- 2) 応募者のこれまでの研究領域・研究実績・現在の研究課題を簡潔に説明するカバー・レター (A4で2ページ以内)
- 3) 研究計画書 (研究目標、研究分野と研究方法、必要な資金、パリで研究を行う動機、既に交流のある研究者や新たに研究交流を行うことを望む研究者について、説明するもの。A4で5ページ以内)
- 4) 必要事項を記入した応募フォーム

選考方法

完全な応募書類のみが、パリ日仏高等研究センターの選考委員会に提出され、選考の対象となります。応募締切り後に選考が開始され、選考委員会においては、各候補者につき、匿名の審査報告担当者が2名ずつ指名されます。選考結果は2016年6月上旬にお知らせいたします。

本フェローシップおよび応募に関するさらに詳細な情報は、以下の日仏財団ホームページをご覧ください。また、ご質問は、下記メールアドレスにお寄せください。

本件の照会先

フランス国立社会科学高等研究院日仏財団

190 avenue de France, Paris, 75013, France.

ホームページ http://ffj.ehess.fr/2017_banquedefrance.html

メール ffj@ehess.fr